



北海道廳野付牛中学校
北海道廳立北見中学校
北海道北見高等学校
北海道北見北斗高等学校

東京とどの実



〈発行〉

東京とどの実会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-6-11
湯島ハイタウン A-207

http://www.tokyo-todonomikai.com

mobile 080 - 2123 - 7380

mail tokyotodonomikai@gmail.com

同窓生紹介

Interview

日本のスポーツの発展のために 昭和59年卒 和久 貴洋さん

独立行政法人 日本スポーツ振興センター 情報・国際部 部長

「まず、現在お勤めの「日本スポーツ振興センター」について教えてください。」

日本スポーツ振興センターは、我が国スポーツ界の中核的存在として二〇〇三年に設置されました。職員数は約四百名、本部は秩父宮ラグビー場の隣、港区北青山にあります。組織は、国際競技力向上のためのナショナルトレーニングセンターなどを所管する「ハイパフォーマンスポーツセンター」、ドーピング防止などスポーツの健全性を守る活動を行う「スポーツ・インテグリティ・ユニット」、学校管理下での災害異動給付業務を担当する「学校安全部」などがあります。「スポーツ振興事業部」が実施するottoやBIG等がよく知られています。

「情報・国際部」とはどんな仕事を？」

日本のスポーツ情報機能の強化に関する業務を担当しており、国内外のスポーツ政策や施策に係る情報を多角的に収集・分析・提供する情報戦略事業、国際展開を図るための国際戦略事業、「スポーツ・フォー・トゥモロー」でおなじみの戦略的国際間スポーツ国際貢献事業などを展開しています。世界の国々とのパートナーシップ、国際連携や交流を進めたり、スポーツ政策の立案を支え

るための情報を収集したり、海外の組織との交渉を行ったりするいわば日本のスポーツ界の国際的窓口ともいえます。私は、部長として全体の統括をしています。まさに、我が国スポーツ界の中核です。ね。いただいた著書『スポーツ・インテリジェンス・オリンピックの勝敗は情報戦で決まる』（NHK出版新書）にも五輪について触れられています。東京五輪との関わりについて教えてください。」

東京五輪・パラ組織委員会には、情報・国際部のスタッフが出向しています。また竣工したばかりの新国立競技場は本センターの所管です。東京五輪での各国の事前キャンプの調整や、次回パリ五輪の日本選手団の準備を進めたりもしています。著書では、日本が五輪をはじめとする国際試合で勝つための情報戦略活動で



2019年11月、ドーハでの国際会議にて

2020年度「東京とどの実会の集い」中止のご案内

現在の国内外における新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、本年の東京とどの実会の集いの開催の可否について役員・幹事会で検討した結果、中止することになりました。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。

ある「スポーツ・インテリジェンス」の重要性について、ロンドン五輪までの取組や成功・失敗例を紹介しています。—そうした仕事に就ききっかけは？

筑波大学では剣道一筋で、高校教員を目指していました。研究を志したのは、研究を深めて剣道の指導に活かそうと考えて卒業論文でスポーツ医学を専攻したことです。学部を卒業し、大学院修士課程二年の後、研究生の時に東京大学の助手として採用され、その後八年間、教育と研究に従事し、その後縁あって現所属の前身の設置準備に携わった際に、情報研究分野に関わることとなりました。

「これまでの出会いの中で、特に影響を受けた方は？」

大学時代、スポーツ業界で働くための道筋をつけていただいた現東京二〇二〇五輪・パラ組織委員会副会長の河野一郎先生と、新たな分野で悩んでいた時に、情報という新領域に導いてくれた元内閣情報

面 (P.11) (P.12)

第69回 東京とどの実の集い 都内散策

「豊洲市場・築地場外市場から勝どき橋・月島もんじやストリートへ」報告

昭和47年卒 生駒 篤



見学者通路から市場を見学

記念すべき令和最初の「とどの実会・散策」は、生憎の梅雨空の下で実施した。集合は、9時丁度、「ゆりかもめ」市場前駅。一九九五年（平成7年）開業というから新しくは無いが、車両も駅も極めて清潔で気持ちが良い。集まったのは総勢11名。今回は、散策始まって以来の「男ばかり」である。狭い高架上の駅構内は、我々の他にも見学目的らしき人々で賑わっている。外国人観光客も多い。むくつけき（旧い表現でスママセン）男11人衆で出発進行！

豊洲市場は前年10月オープンしたばかりで、「水産仲卸売場棟」、「水産卸売場棟」、そして「青果棟」の巨大な3つの建物に分かれている。改札を出ると、屋根付の「見学者通路」が3つの建物の3階部分を繋いでいる。「水産仲卸売場棟」が一番見所豊富なようだ。建物の3階に入ると、お寿司屋さんが十数軒並んでいて、どの店も大賑わいである。9時を過ぎたばかりだというのに、味に問題はないだろうが、値段には目を斜く。誰かが「北海道では旨くて安い寿司屋がいくらでもあるからなあ」と呟いた。

近代ビルのテナントだが、刃渡り1階を超すような包丁がケースに陳列されている。当に芸術品である。見学者通路の窓から「市場」が覗けるようになっていて、早朝のセリはとくに終わって、人影はまばらである。段ボールがそこら中に積み上げられ、その間をタレーが走り回っている。近代的な建物（外観）と、昭和の中身とのミスマッチが面白い。

「水産卸売場棟」と「青果棟」を駆け抜け、「市場前駅」に戻る。豊洲駅で地下鉄に乗換え新富町へ。コーヒーチェーン店で一服。石造りの築地本願寺を左に見て、「築地場外市場」へ。ここは豊洲以上の大賑わいである。精々一〇〇



波除稲荷神社にて

（一五〇m四方しかない狭い街区に寿司屋、飲み屋、怪しげな土産物屋が数十軒以上密集し、狭い通路には観光客がごった返している。這々の体で人混みを抜け身を淨め直した。神社のあたりから雨が降り出してきた。昭和15年完成の「跳ね橋」勝鬨橋で隅田川を渡る。昭和45年からは「開かずの橋」になったのは寂しい。月島に入り、「もんじやストリート」を歩く。昭和情緒の落ち着いた佇まいでホッとさせられる。ただ、再開発が進む晴海に隣接しているためか、タワーマンシヨンの建設が盛んに行われているのが、興醒めではあった。

雨が益々強くなってきた。さしものどの実の兵（つわもの）達もこれ以上の「雨中行軍」は断念し、月島駅から地下鉄で半蔵門の総会会場へと向かった。オリンピックの前年、東京の新旧を体感した散策でありました。これからも愛する「第2のふるさと、東京」がバランス良く発展していくことを祈りたいと思います。ご参加いただいた11人の皆様、お疲れ様でした。

和久貴洋氏インタビューのつぎ
報調査室長の大森義夫さんです。
「現在の職場以外でも、様々な活動をされていますね。印象に残っていることをお聞かせください。」

平成23年にスポーツ振興法を50年ぶりに全部改正したスポーツ基本法が成立しましたが、当時、遠藤文部科学副大臣との関わりで参加した「スポーツ振興に関する懇談会委員」の仕事です。我が国のスポーツに関する基本理念や施策の基本事項を定めた法律の制定に関わったことは、仕事にも役立ちましたし、何より大きな自信となりました。

「ところで、どんな高校時代でしたか。また、同期会に参加した感想を。」
剣道、バンド活動、そして恋愛など、とにかくやりたいことを何でもやっていました。それなりに勉強もしたし、いろいろなことを経験しました。50歳を過ぎて同期生と会って気兼ねなく話せてホッとします。とにかく、北斗の卒業生はそれぞれ頑張っていて優秀だと思いますね。最後に、後輩の皆さんに一言。

私は剣道で負けたり、仕事で失敗したりした経験から多くを学んだ気がします。「負けや失敗を客観的に受け入れ、今の自身の実力とする」ことは、新たなことに挑戦するためにはとても大切だと思います。同窓会を通じた後輩の皆さんとの新しい出会いに期待しています。

北見中学・北見北斗高校の思い出

恩師 二十六期 藪口 一光先生

昨年の東京とどの実会には、恩師の藪口先生と、カーリングで活躍の藤澤五月さんをお招きし、大変盛り上がりました。藪口先生が青春の思い出を寄せてくださいました。

旧制庁立北見中学時代

敗戦の色濃い昭和20年3月、端野小学6年8名の友と北見中学の入試を受ける。2日間にわたり面接試験、国語、算数、理科、地理、体操だったと思う。地理では硫黄島について知っていることを述べよ、と質問され「長さ8キロ幅4キロ、南端に摺鉢山があり、米国と激戦中」と答え、よく知っているね、と言われたことが印象に残る。五〇〇人程受け合格は三一八名（一年生の成績表より）競争率一・五倍は高かった。

入学はしたが戦時中であり、防空頭巾、非常食を持つての通学、勉強どころではなく我々一年生は七・八月の二ヶ月訓子府へ泊まり込みの援農、村井君と私は開盛部落の奥のOさん、Hさん宅両家へ5日交代で朝から夕方まで働く。主に草取り、慣れていないので我々の後は草が生え、恥ずかしい思いが今も残る。夜はランプなので8時には床へ。両家とも優しく、麦飯



ゲストのお二人と。後列左から長谷川会長、宮井さん、山本さん、藤澤さん
前列左から藪口先生、小山内さん（宮井さんはラグビー部27期、山本さんはラグビー部48期、小山内さんは26期で藪口先生と同級）

を腹一杯食べることができた。お盆休みをもらい自宅に帰った日に終戦のラジオ放送があり、母、伯母が泣いていた姿を見て、これからロシアに占領されたら自分たちはどうなるだろうと心を痛めた。8月末まで援農は続き、月末に確か12円頂き帰宅、当時の授業料は月4円50銭。中学でもう一つの思い出は三年生の時、北見市民少年相撲大会が本校中庭にあった土俵で小・中学生百三〇名参加で行われ、私も選ばれた。北見中が団体優勝、個人では不思議な

北見高校・北見北斗高校時代

ことに私が優勝、生まれて初めて新聞に名前が載り隣のおばさんにおめでとうと言われ嬉しかった。
中学3年頃から戦後の部活が復活、友人の佐々木君に強引に誘われ、四月に部ができたラグビー部に9月に入部、翌年2月中央小グランドで北見中と社会人の北見極光クラブと雪中戦が行われ、私もロックとして出場、物資不足で父の古いシャツや母のストッキング、地下足袋でやる者もいた。

学制改革で北見高校と名が変わり僅か1年で現在の北見北斗高校となる。高校の思い出も沢山あるが、二つだけ述べたい。一つは強行遠足。朝4時北見駅前出発、置戸から留辺蘂周り73キロ、中学生で三回走った経験を生かし、高1で30位、2年は置戸まで歩かず走り続け、後は電柱十本走り一本歩くペースでついに8位に入賞、小さな賞状を受け取った時は嬉しかった。翌三年は男女共学となり中止。更なる上を狙っていただけに誠に残念。本年度88回と思うがこれからもよき伝統として長く続くことを願う。

もう一つはラグビーである。創部2年目にして全国大会に1年生でロックとして東京秩父宮ラグビー場の全国大会に出場し3位、2年では東京国体に道代表としてロックで出る、結果は

3位。3年では道代表として、名古屋国体にプロップとして出る。一回戦で負けたが、西宮で行われた全国大会では、優勝した天王寺高校と大接戦、惜しくも8対5で敗れ3位。後日OB会で工藤コーチが君らの時が一番強かったと言った言葉が忘れられない。高2の時北斗高で行われた全道大会準決勝で全校応援の中、私が同点のトライを決めたあの感激は生涯忘れられない。思い出は尽きないが、中高6年間は、良い先生、情の深い友に囲まれ、自分の可能性に挑戦できた素晴らしい青春だった。
大学を卒業して幸いにも母校の教員（商業）に採用され、17年間教壇に立ち、担任14年その間4回の卒業生二〇二名を出し、またラグビー部員一七一名を送り出す。心優しく思いやりのある、そして意欲に満ちた生徒、力強く、創造力に溢れた部員と多くの大会で好成績を残せたことに深く感謝したい。
終わりにになりましたが、昨年東京とどの実会・懇親会に招待され、懐かしい知人、友人、教え子に逢うことができ、楽しいひと時を過ごすことができ、誠にありがとうございました。長谷川会長さん、48期の山本、矢萩、61期の一久保各氏には送迎等大変お世話になり深く感謝いたします。東京とどの実会のみならずの充実・発展を心から祈り筆を置きます。



会長 長谷川知子さん
(昭和40年卒)



ゲスト 藁口一光先生
(昭和26年卒)



ゲスト 藤澤五月さん
(平成22年卒)



来賓 佐々木淳校長先生



来賓・小原とどの実会会長
(昭和52年卒)



活動報告 田上博志さん
(昭和50年卒)



監査報告
馬場正孝さん(昭和34年卒)
村田由美子さん(昭39年卒)



司会 村上幸子さん(50年卒)
鎌田哲生さん(61年卒)



校歌斉唱 リード長谷川侑二さん
(38年卒)



乾杯 宮井国夫顧問(27年卒)

第69回東京とどの実会の集いは、令和元年6月22日(土)13:00からホテルモンテ半蔵門にて開催されました。来賓として北見北斗高校の佐々木校長先生をはじめ、北見のとどの実会会長、東京もいわ会会長、かしわ会東京支部長及び昭和26年卒から平成14年卒までの会員の方々130名が集いました。鎌田哲生さん(昭和61年卒)、村上幸子さん(昭和50年卒)の開会宣言で始まった総会は、長谷川侑二さん(昭和38年卒)のリードで校歌を斉唱、この一年で故人となられた方々に黙祷を捧げました。長谷川会長(昭和40年卒)の挨拶の後には、田上幹事長(昭和50年卒)による活動報告、会計担当の吉見さん(昭和56年卒)から会計報告、監査を担当していただいた馬場さん(昭和34年卒)から監査報告があり、総会議事は満場一致で承認されました。続く懇親会では、北見からのご来賓である佐々木校長先生、小原とどの実会会長(昭和52年卒)よりご挨拶をいただき、ご来賓の紹介、宮井さん(昭和27年卒)の乾杯の音頭で始まった会は終始和やかな語らいの場となりました。恒例となった集いの前に行われる散策については、生駒副会長(昭和47年卒)より報告(豊洲、築地、月島一周コース)がありました。昨年は、日本でラグビーワールドカップが行われ日本中がラグビーに沸きました。ラグビーヤーに相応しく母校のラグビー部の陣頭指揮に当たり全盛期を築

かれた藁口一光先生をご招待し、当時のラグビー部の活躍などについてお話しいただき大変興味深く聞くことができました。その後、平昌オリンピックのカーリング競技のメダリストである藤澤五月さん(平成22年卒)から恩師の言葉の後押しによりカーリング競技の選手としての道を歩んだことや現在の活動及び今後の抱負について話していただきました。また、株式会社清月の渡辺社長(昭和63年卒)から協賛の申出があり平昌オリンピックでの報道により話題となった商品の「赤いサイロ」が参加者に提供されました。その後、各卒業年別の写真撮影と続いた会は北見北斗高校第一応援歌と「今日の日はさようなら」を全員で合唱した後、次回の当番である引地聡さん(昭和52年卒)の中締めで更なる会の発展を期して散会となりました。(幹事長 田上博志)



藁口先生、藤澤五月さんとご来賓のみなさま



「赤いサイロ」昭和63年卒渡辺さんから



第69回 「東京とどの実会」

ゲストを囲んで世代ごとの集合写真



24～30年卒



32～34年卒



37年卒



38年卒



39年卒



40年卒



41年卒



42年卒



43年卒



44～46年卒



47～48年卒



50～52年卒



53～57年卒



58～59年卒



61年卒



66～77年卒

歓談



およせいただいた近況から

昭和48年卒 伊藤 重博

48期 ほぼ年金受給

同期会開催

昨年（二〇一九年）8月10日、48期の「ほぼ年金受給」同期会が、北見市、



ほぼ年金受給同期会、北見市黒部ホテルで開催

黒部ホテルで開かれました。出席者は全国各地から総勢約70名。

前回の還暦同期会以来の再会や、卒業以来初めて出席する人もいました。名前と顔が一致しない人も多かったのですが、すぐに47年の時を超えて、和気あいあい、賑やかな会になりました。終わりには全員で輪になって肩を組み、校歌を歌い一次会を終えました。会は2次会、3次会と続き、中には4次会、5次会という猛者も



全員肩を組んで校歌斉唱



いたようですが、私は3次会でダウン。前回と同様に、関連企画として「絵画と陶」伊藤彰規・矢萩典行展を開き、多くの同期が集まりました。次回は3年後、サロマ湖を臨むホテルで開催とのことです。

昭和42年卒 広川 正三

同期会は楽し！

42期東京組は年に数回「ホームルーム」と称し呑み会を開催しておりますが、実はただの酔っぱらい集会ではございません。何故かと申し

い天然温泉に入れる和洋折衷ホテルです。

16日の15時から受付を開始し、19時から宴会、21時から二次会（ほぼ全員でカラオケ）、その後はエ



ンドレスです。

翌月曜日は朝食後、10時頃までにチェックアウトして自由行動というスケジュールです。私は仕事があり8時にはホテルを出ましたが、お客様のところへ20分ほど遅刻をしましてまい若干疲れを感じた一日でありました。この同期会は、私と大島宇三郎（現俳優）が二〇一八年11月に酒を飲んだときに、大島より同期会やりたいね、がきっかけとなり、また8名の幹事仲間ができたことにより、非常に実り多い会となりました。二〇一九年11月26日に幹事8名で忘年会を楽しみ、毎年忘年会やろうね、とみんなで確認をしました。

勉学に励んでおります。令和2年1月23日に挙行了した令和最初の集い。一時間目は「皇居参観」皇居桔梗門・富士見櫓・長和殿東庭・伏見櫓・二重橋など日頃は入れない皇居の中を宮内庁職員のガイド付きで見学でございます。陛下にお会い出来なかったのはちょっと残念でございましたが。

さてお待ちかね二時間目「ホームルーム」は同期の田辺円君（ラグビー



田辺円君「旭日中綴章」受章記念祝賀新年会

よく生き延びた50年、卒業後半世紀の同期会

昭和44年卒 角 諭

私たち44期は二〇一九年6月16日（日）～6月17日（月）にかけ同期会を行いました。

私たちが卒業したのは一九六九年、50年が経過したことになります。その間に亡くなった方もおられますが、「よく生き延びた50年、卒業後半世紀の同期会」と銘打って盛大に行うことができました。幹事は私を含め8名です。場所は東京・上野、不忍池の北、明治の文豪・森鷗外邸があった場所にそびえる「水月ホテル 鷗外荘」が会場です。敷地内に森鷗外の実物の家があり、見学をすることが出来ます。また東京では珍し



水月ホテル鷗外荘にて

皇居桔梗門にて

東京とどの実会

●会員数	1,191人	2019年12月31日現在
●会費納入数	254人	2020年3月31日現在
●総会出席者数		
2017年	125人	アルカディア市ヶ谷
2018年	106人	アルカディア市ヶ谷
2019年	130人	ホテルモントレ半蔵門

平成30年度会計報告書

自 30年4月1日 至 31年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	1,701,667	会合費	33,829
年会費収入	514,000	印刷費	185,102
総会費収入	693,000	消耗品費	16,128
寄付金収入	140,000	通信交通費	157,046
預金利息	13	支払手数料	24,718
		総会費	734,935
		渉外費	47,642
		雑費	2,000
		次期繰越金	1,847,280
合計	3,048,680	合計	3,048,680

東京とどの実会役員

(令和元年)

名誉会長	昭24年卒	故桂 教夫	副幹事長	昭59年卒	渡邊 範道
相談役	昭26年卒	小山内 清孝	幹事	昭44年卒	井上 順治
会長	昭40年卒	長谷川 知子	顧問	昭27年卒	宮井 国夫
副会長	昭42年卒	広川 正三	幹事	昭37年卒	半田 護
々	昭44年卒	角 諭	幹事	昭40年卒	石渡 俊弘
々	昭47年卒	生駒 篤	幹事	昭40年卒	前田 良三
幹事長	昭50年卒	田上 博志	幹事	昭42年卒	平澤 芳樹
副幹事長	昭52年卒	引地 聰	幹事	昭43年卒	池田 順子
々	昭53年卒	渡辺 由紀子	幹事	昭43年卒	木村 篤

お亡くなりになった方 (2019年)

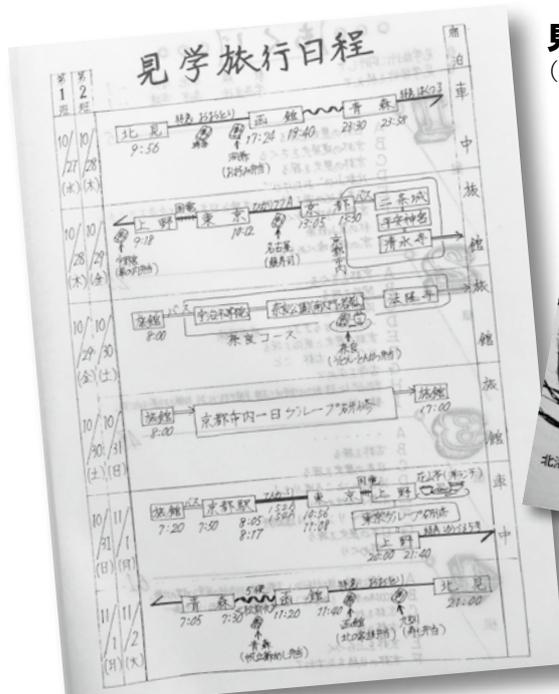
ご冥福をお祈りいたします。

昭和54年卒	昭和49年卒	昭和40年卒	昭和33年卒	昭和32年卒	昭和30年卒	昭和29年卒	昭和28年卒	昭和27年卒	昭和27年卒	昭和27年卒	昭和24年卒	昭和21年卒
新沼 順子	榎本 史朗	久常 久美子	斉藤 佐枝子	長山 泰久	千葉 汪子	小西 清治	高田 礼二	辻丸 誠一	篠崎 晟	小野垣 啓一	桂 教夫	佐々木 秀昭

(敬称略)

編集後記

・昨年の東京とどの実会は、北斗ラグビーの育ての親、恩師養口先生と、新しいヒロイン藤澤五月さんをゲストとしてお招きし、大いに盛り上がりました。養口先生は86歳とは思えない歩き方、記憶力の素晴らしさで、羽田にお迎えに行った二人は出口でお会いする前に、駐車場まで車椅子でも必要ななどと失礼な心配をしていましたが、全くの杞憂でした。一方の藤澤さんはテレビで見る通りの可愛らしさで、歓談はさながら五月ちゃんを囲んでの記念撮影の様相でした。姪の北見北中の同級生ということもあり、私も二言三言話をしました。銅メダルがずっしり重かったのが印象的です。新型コロナ感染症の猛威で今年の会が中止になったのは残念ですが、来年も楽しい会になればと願っています。(N.Y)



見学旅行の思い出

(昭和59年卒から)

